

議員提出議案の提出について

件名 議員提出議案第六号

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

本案を別紙のとおり、箕面市議会会議規則第十三条の規定により提出します。

平成三十年十二月十四日

提出者 箕面市議会議員 川上 加津子

同 神田 隆生

同 中井 博幸

同 岡沢 聡

同 神代 繁近

箕面市議会

議長 林 恒男 様

議員提出議案第六号

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

本案を次のとおり提出する。

平成三十年十二月十四日提出

箕面市議会議員 川上 加津子

同 神田 隆生

同 中井 博幸

同 岡沢 聡

同 神代 繁近

## 議員提出議案第六号

### 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

北朝鮮による日本人拉致事件は、我が国の主権及び日本国民の生命・安全に関わる重大な問題で、許しがたい国家的な犯罪であり一日も早い全面的な解決が求められる。

北朝鮮が日本人拉致を認めた平成十四年の日朝首脳会談から十五年を経ているが、この間、北朝鮮は、拉致問題に関して極めて不誠実な態度を取り続けており、解決に向けた具体的な進展が見られぬまま、多数の日本人拉致被害者は今も不法に抑留され続け、帰国を待つその家族の忍耐は、もはや限界を超えている。

このような状況の中、本年六月十二日にシンガポールで行われた史上初の米朝首脳会談において、トランプ大統領によって日本人拉致問題が提起された。

そして、六月十八日に安倍首相は国会において、これから日本が北朝鮮と直接向き合って拉致問題を解決していくとの決意を明らかにしている。

しかしながら、問題解決への期待が高まったものの、それ以降の進展はなく、解決への道筋は未だ見えていない。

米朝首脳会談から約三か月半が経過した九月二十三日、拉致被害者の家族会や支援団体などが大規模な国民集会を開き、家族は、「今が正念場でこれだけは解決を」「帰国実現だけに焦点を当てて着実な進展を期待する」などと強い口調で訴えている。

拉致事件の発生から既に四十年以上が経過しており、拉致被害者及びその家族の置かれている状況を踏まえると、これ以上時間を費やすことは許されない。

よつて、政府におかれては、米国及び関係各国との緊密な連携を強め、ただちに北朝鮮との対話のチャンネルを開き、日朝平壤宣言の精神に立つて全ての日本人拉致被害者帰国の実現を最優先課題として、本問題の全面的解決に全力を尽くして取り組むよう強く要望する。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成三十年十二月二十日

箕 面 市 議 会